



(一社) 徳島県バスケットボール協会

新型コロナウイルス 運営マニュアル

Ver.3.3 20210525

コロナウイルス禍の大会運営について

運営スタッフ・チーム関係者・選手の皆さまにはまずは個人防衛をお願いします。また運営に携わるすべての皆様、そのご家族一人一人が、新型コロナウイルスの特性を理解し、感染を予防する行動を取ってください。

それでも感染を100%防ぐ手だては、残念ながらありません。

そこで集団防衛です。「体調が悪いけど、我慢して練習に出よう、仕事に行こう、ちょっと試合を観るだけ」といった行動が感染を広げてしまう可能性があります。

発熱・咳・倦怠感などの症状を認めたら休む勇気を持つこと、そのことを報告する勇気をもつことを、是非お願いいたします。

また応援の皆さまにも、観戦にあたって、発熱・咳・倦怠感などの症状が認められた場合には体育館に行かない、という文化の醸成が求められています。

こうした個人防衛と集団防衛を通じて、社会防衛に貢献していきましょう。

大会運営についてお願いしたいこと

1. 3密を避ける
2. 体育館に来るまでや、体育館での予防策の徹底
3. もし感染した場合の速やかに対応（連絡など）できる体制の構築

マニュアルの基本方針

1. 安全最優先
生命・健康の安全最優先とし感染拡大のリスクを最大限に排除した、選手・チーム、指導者、審判、運営スタッフ、それらの方のご家族等が安全に活動できる環境を提供するためのものです。
2. JBAガイドライン
JBAより「事業・活動ガイドライン」が公開されており、バスケットボール競技の特性を考慮しながら作成したものです。
3. 不当な扱いや差別などの禁止
感染状況で異なる活動差をもって選手やチームを不当に扱う事はせず、感染状況に起因する一切の差別や誹謗・中傷を許しません。

マニュアルの運用方針

マニュアルの拘束力

本マニュアルはあくまでも、活動再開及び各時点において実施し得る活動について、目安として参照すべき留意点をまとめたものです。そのためチーム活動に対して拘束力を持つものではありませんができる限り遵守をお願いします。

事業・活動実施方針と事業の判断基準

事業・活動実施方針

- ①主催者は、新型コロナウイルス感染対策の兆候ありと判断した場合は、事業・活動の制限や中止について、適切に判断する事をいとわない。
- ②主催者は、事業・活動実施のためには新型コロナウイルス感染対策の徹底が大前提であることを再確認し、事業・活動実施を検討する。
- ③主催者はこれまでの感染拡大の経験を踏まえ、より効果的な感染対策を講じ、参加者に実施を徹底させる。

感染対策

陽性者/濃厚接触者

- ①「陽性者」とは以下の症状の有無にかかわらず、「PCR検査・抗体検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。

新型コロナウイルス感染症が疑われる症状

発熱・咳・呼吸困難・全身倦怠感・咽頭痛・鼻汁・頭痛・筋肉痛・下痢
嘔吐など

- ②「濃厚接触者」とは、陽性者の感染可能期間内に接触した者のうち、次の範囲に該当する者を指します。濃厚接触者は陽性者が判明した際に保健所が特定するので、行動履歴の記録は非常に重要です。
 - ・陽性者と同居あるいは長時間の接触（車内・航空機内を含む）があった者
 - ・陽性者の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接接触した可能性が高い者
 - ・手で触れる事のできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防なしで陽性者と15分以上の接触があった者。

陽性者・濃厚接触者が判明した場合の対応

陽性者・濃厚接触者が出た場合の考え方について

最も大切にしなければならないことは、バスケットボール活動によって「クラスターを起こさないこと・誹謗中傷を生み出さないこと」です。

バスケットボール活動を行って良いのは「感染していない者」が大前提です。

バスケットボール活動では、感染している可能性がある者がいる中で感染対策を行っても感染をしないようにする事は大変困難です。

- ① 大きな症状が見られなくてもウイルス感染している可能性があり、軽い風邪の症状を見逃さない事が大切です。熱中症と風邪の症状と似ています。従って体調がおかしいと感じたら「積極的に休むこと」を選択してください。
- ② 指導者・選手は練習を休むことに抵抗があるかもしれませんが、現在はこれまでの状況とは異なる状況にあることを受け入れてください。集団感染が発生すればより大きな支障がでます。従って「やりたくても辛抱すること」を指導者が選手に伝え、チーム全体の理解を促してください。
- ③ 活動の停止や大会参加への自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間で誹謗中傷がおこることがあってはなりません。事前にこの対応についてチーム内・関係者・保護者等と共通認識を持つ機会を作ってください。

体調不良者への対応

- ① 体調不良者は体調不良であることをチーム責任者に報告してください。また大会がある場合は、チーム責任者から大会主催者へ報告してください。
- ② 体調不良者は発症から数えて2日及び症状消失後より3日間は活動を休み、自宅療養する事を推奨します。
- ③ 病状喪失後も3日間は自宅療養とする新型コロナウイルス感染に対する一般方針があります。感染していたとしてもウイルスの排出量が少なくなり感染リスクを下げる事ができるためです。

大会主催者感染防止予防マニュアル

- ① 要項配布時に「大会開催実施時の感染防止対策チェックリスト」（主催者向け①（主催者向け②）、（参加者向け））の三枚及び「競技会場、入場者確認書」を添付すること
- ② 大会抽選日等に全チームの代表者を集め、感染防止対策について説明すること
各チームの選手・スタッフともに2週間前から健康管理・検温を実施すること
大会当日には、ベンチや更衣室等をチームスタッフが清掃・消毒する旨を依頼すること（代表者を招集できない場合は、文書で説明すること）
- ③ 大会当日の会場での選手の移動を考慮し、密にならないように動線や時間を計画し、各チームに連絡徹底すること
- ④ 受付・消毒・見回り等で必要なスタッフの人数を算定し、徳島県バスケットボール協会（以下TBA）事務局に追加必要人数を依頼すること（TBA事務局は、各カテゴリーに依頼し応援を派遣する）
- ⑤ 消毒等で必要な消毒剤・ペーパータオル・手袋・ビニル袋・ゴミ袋等の必要数をTBA事務局に連絡し数を確保すること
- ⑥ 会場準備に必要な器具とともに非接触式体温計や消毒剤等もTBA事務局から会場へ運ぶこと
- ⑦ 大会当日、受付・消毒・見回り等の役割分担を徹底し、責任を持って果たすこと
- ⑧ 「競技会場 入場者 確認書」「消毒チェックリスト」は必ず回収し、競技会終了後、早急にTBA事務局に提出すること（TBA事務局で2週間保存する）
- ⑨ 消毒等で出たゴミ（ペーパータオル・手袋を密封したビニル袋等）が会場で処分できない場合は、TBA事務局で処分するのでゴミ袋等にまとめ運ぶこと
- ⑩ 大会終了後、競技器具とともに非接触式体温計や消毒剤等もTBA事務局に返すこと

大会開催実施時の感染防止対策チェックリスト (主催者向け①)

主催者が準備すべき事項

★手洗い場

- 石けん(ポンプ式が望ましい)を用意し「手洗い30秒以上」等の掲示をすること
- 手を拭くためのマイタオルを持参するよう指示する
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の消毒剤を用意すること

★更衣室

- 複数の部屋を準備したり、広さにゆとりを持たせるか又は、時間帯を分けて一度に入出する数を制限し、蜜の状態を避けること
- 換気扇を常に回し、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること
- ドアノブやイス等の消毒をこまめに行うこと

★トイレ

- 換気扇を常に回し、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮すること
- ドアノブや水洗トイレのレバー等の消毒をこまめに行うこと
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すように表示すること

★会場

- 換気の悪い密閉空間とならないよう、十分換気を行うこと
- 換気設備を適切に運用し、定期的に窓を開けて外気を取り入れる等の換気を行うこと

★試合の進行

- ハーフタイムにおける次試合チームのアップは密状態となるため禁止とする。また、試合前のストレッチやアップは外で行なわせること
- 各試合のインターバルを30～60分程度で設定し、試合終了チームの退場後にベンチ・T Oセット等の消毒をする。その後次の試合のチームが入場し、コートでのアップを30分程度とることとする

★観客の管理

- 基本的に無観客とする
- 観客を参加させる場合には、あらかじめ観客席の数を減らすなど密な状態とならないよう対応できる場合に限る
- マスクを着用し、大声で声援を送らない事や会話を控えること

★ゴミの管理

- 各チームが出したゴミは、すべて持ち帰らせ処分すること
- ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用し、脱いだ後は必ず石けん等で、手洗い、手指の消毒をおこなうこと
- 鼻水、唾液などがついたゴミは、ビニール袋に密閉し廃棄すること
- 運営側で出たゴミ(ぞうきん、タオル等)はまとめて協会に持ち帰ること

大会開催実施時の感染防止対策チェックリスト (主催者向け②)

主催者が参加募集する時の対応

★参加募集時の対応

- 選手の**エントリー数は15名**、**スタッフは4名**までとすること
- 書面による参加確認書(別紙)を毎日提出すること
- 以下の事項に該当する場合は参加を見合わせることを求めること
 - ① 体調がよくない場合(例:風邪によく似た症状がある場合)
 - ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ③ 過去14日以内に入国制限等の国・地域への渡航又は該当在住者と接触ある場合
 - ④ 当日に発熱(おおむね37.5℃以上)がある場合
- マスク・**マイタオル**・**マイドリンク**を持参すること
- コート外ではソーシャルディスタンス(2m)を保ち、大声を出さないこと
- 終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無を報告すること

当日受付時の対応

★当日の受付時の対応

- 入り口には、手指消毒剤を設置すること
- 風邪に似た症状がある人は、軽度でも入場しないように呼び掛けること
- 主催者スタッフ等は基本的にマスクを着用すること
- 大会参加者は**全員入り口で検温**し、発熱者は入場を控えていただくこと
- 大会参加者全員(選手、スタッフ、主催者、審判等)から、以下の事項を記載した**書面の提出**を求めること(クラスター対策)
 - ① 氏名・年齢・住所・連絡先
 - ② 当日の体温
 - ③ 風邪によく似た症状の有無の確認
 - ④ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方の有無
 - ⑤ 過去14日以内に入国制限等の国・地域への渡航又は該当在住者と接触の有無

大会開催実施時の感染防止対策チェックリスト (参加者向け)

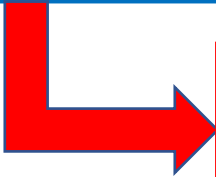
参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを
(**利用当日に別紙書面の提出**による確認を行います)
- ① 体調がよくない場合 (例: 風邪によく似た症状がある場合)
- ② 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ③ 過去14日以内に入国制限等の国・地域への渡航又は該当
在住者と接触ある場合
- ④ 当日に発熱 (おおむね37.5℃以上) がある場合
- 選手・スタッフの会場への入退場は、前の試合が終了し、会場
から前試合の選手・スタッフが**退場してから入場**すること
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 競技者は競技時間以外では、マスクの着用を心がけること
- チームスタッフは、マスクの着用を心がけること
- マスク・マイタオル・マイドリンクを持参**すること
- ドリンクの回し飲みはしないこと
- コート外ではソーシャルディスタンス (2m) を保ち、大声を出さ
ないこと
- 試合終了後は速やかに、着替えを行い**会場から退出**すること
- 各チームで生じたゴミは、各チームが責任を持って持ち帰ること
- 感染防止のため主催者が決めたその他の処置の遵守、**主催者の
指示に従うこと**
- 終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場
合は、主催者に速やかに濃厚接触者の有無を報告すること

新型コロナウイルス感染症マニュアル①

試合前 2 週間から前日まで

- ① 37.5℃以上の発熱が 2 日間続いた場合
 - ② せき、頭痛、だるさ、のどの痛み、味覚、倦怠感、嗅覚の異常が続いた場合
- * 但し、医療機関による診断で疑いのない場合は除く



必ず大会主催者へ報告
大会へは基本的に参加できない


試合前 2 週間から前日まで

- ① 職場・サークルの同僚、同居家族等が濃厚接触と判断された場合、PCR検査の結果陰性であると判断されれば参加可能である。
- ② 運営スタッフ、チームスタッフ、選手、本人が濃厚接触者と判断された場合、PCR検査の結果陰性の結果がでて2週間の観察期間が過ぎるまで大会には参加できない。

新型コロナウイルス感染症マニュアル①

陽性者の対応方法


- ① 保健所の指示に従って療養
原則入院またはホテル、自宅療養を行う
- ② 2週間の行動記録提出、感染対策内容の調査を提出
- ③ 療養終了後はケガ防止を考慮しながら徐々に活動量・強度を増やすようにする



必ず大会主催者へ報告
大会へは基本的に参加できない

陽性者が所属するチームの対応

- ① 必ず所属長（学校の場合）、県協会及び県連盟へ報告する
- ② 保健所の指示に従って濃厚接触者の及び感染拡大に対するリスク管理を行う




必ず大会主催者へ報告
大会へは基本的に参加できない

新型コロナウイルス感染症マニュアル①

本人が濃厚接触者になった場合

- ①本人の活動の自粛を要請します
- ②保健所の指示に従って自宅待機・隔離する
- ③ 2週間の行動記録提出、感染対策内容の調査を提出
- ④チーム内の濃厚接触者かチーム外の濃厚接触者かを確認する
- ⑤療養終了後(日数は症状により異なる)は、ケガ防止のためにも段階的に活動再開するようにする



2週間以内の場合は、必ず大会主催者へ報告してください

同居家族・同居者・同僚が濃厚接触者になった場合

- ①本人の活動の制限はしません。但し、体調不良等が見受けられる場合は、活動の自粛をお願いします。




陽性の場合は大会へ参加できない

新型コロナウイルス感染症マニュアル②

大会期間中に


運営スタッフ、チームスタッフ、選手が陽性と判断された場合



保健所の指導の下、対戦チームにも自粛を要請する場合がある。

大会期間中に

・運営スタッフ、チームスタッフ、選手が濃厚接触者と判断された場合



保健所の指導の下、原則として大会は続行する。
本人のみ大会参加をご遠慮いただく。

情報開示について

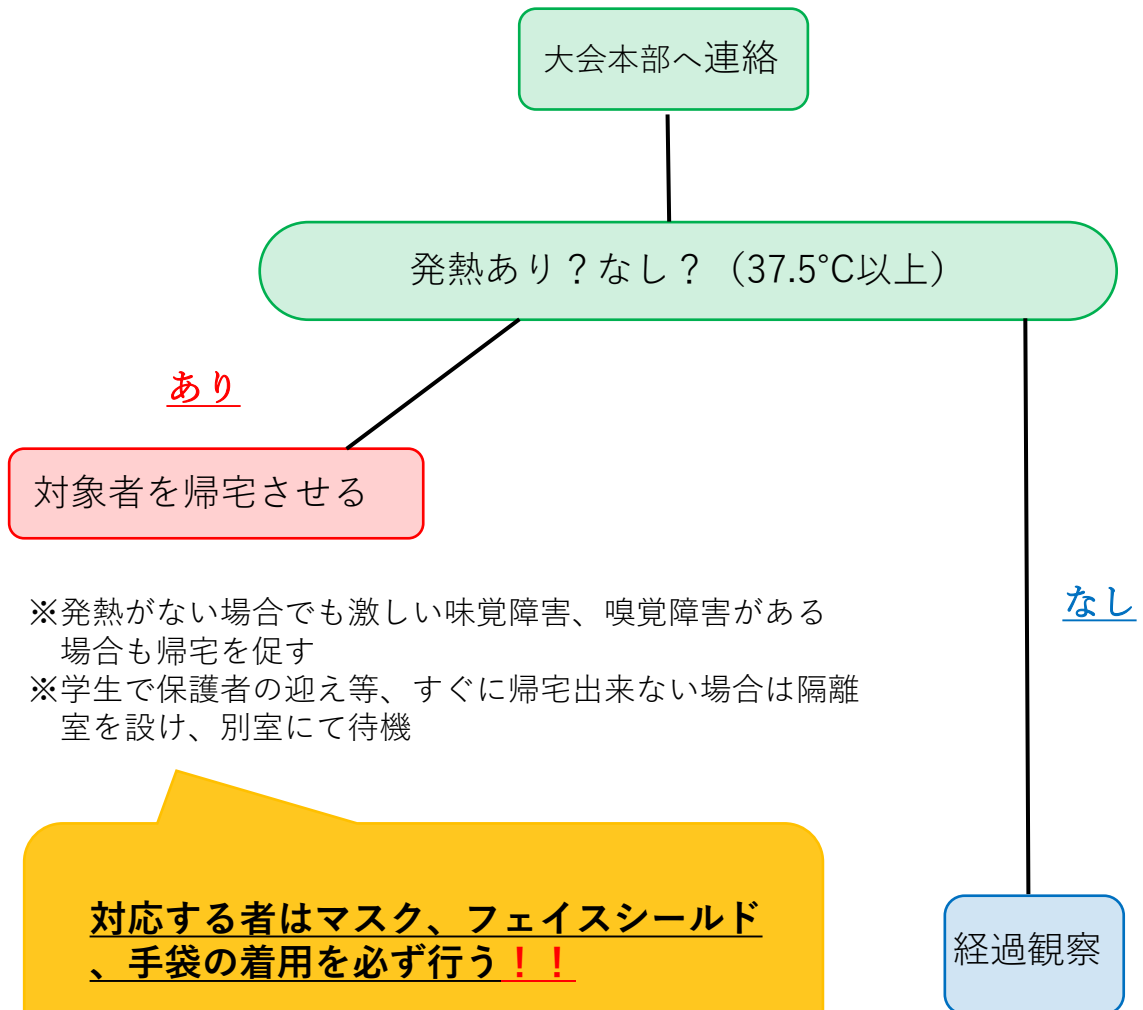
- ① 個人名チーム名は原則非公開とする。
- ② 運営スタッフ、チームスタッフ、選手から濃厚接触者が出た場合、原則発表しない。
ただし、濃厚接触者との接触が考えられる関係者には個別に連絡する。
- ③ 感染の疑いが保健所から指導があった場合は公表する。

◇大会期間中、大会終了後2週間以内に下記の症状があった場日は要注意

- ① 平熱を超える発熱がある (37.5°C以上)
- ② 咳、痰が出る
- ③ 倦怠感
- ④ 味覚障害、嗅覚障害

※喉の痛み、鼻水や上気道症状や吐き気などの消化器症状は比較的少ない傾向である。

会場内での体調不良者（主に上記◇の症状）がある場合



帰宅後症状の改善が見られない場合、経過観察後に悪化した場合

医療機関の受診（かかりつけ医や近くの医療機関）

感染が疑われる場合は発熱外来受診

陽性の場合

陽性者が所属するチームが行うこと
チーム責任者が協会へ報告を行う

協会が行うこと

- ①保健所と相談し、濃厚接触者の確認を行う
- ②濃厚接触者と判断された者は参加確認書を用い代表者へ連絡し保健所の指示に従っていただく

陰性の場合

再度症状が出現する可能性や陽性になる可能性もあるため、異変がある場合は速やかに帰国者・接触者相談センターへ連絡し、協会へ報告を行う



(一社)徳島県バスケットボール協会

2021.4.1

団体名 (一社)徳島県バスケットボール協会

使用日時

(チーム名::)

年 月 日 曜日

No.	氏名	性別	体温	住所	電話番号
1		男・女			
2		男・女			
3		男・女			
4		男・女			
5		男・女			
6		男・女			
7		男・女			
8		男・女			
9		男・女			
10		男・女			
11		男・女			
12		男・女			
13		男・女			
14		男・女			
15		男・女			
16		男・女			
17		男・女			
18		男・女			
19		男・女			
20		男・女			
21		男・女			
22		男・女			
23		男・女			
24		男・女			
25		男・女			
26		男・女			
27		男・女			
28		男・女			
29		男・女			
30		男・女			

ご協力ありがとうございます。
ご記入いただきました個人情報、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のみに使用し、ほかの目的には使用いたしません。

消毒チェックリスト② (年 月 日)						
会 場				場 所	競技フロア・道具	
時 間 (時 : 分)	担当者 氏 名	消毒箇所 (○印)				
		フロア	ベンチ	T0道具・机イス	モップ	ボール
:						※
:						※
:						※
:						※
:						※
:						※
:						※
:						※
:						※
:						※

※ 大会終了後 2 週間保存

(一社) 徳島県バスケットボール協会

- ベンチのイス等；試合後、使用したチーム・スタッフ（大人）が消毒をする。
- T0道具・机イス；主催者スタッフ（審判も可）が消毒する
- モップ・イス；主催者スタッフが消毒する
- フロアー；主催者スタッフが消毒液を噴霧する
- 消毒に用いた消毒液やペーパータオル・手袋（ビニール袋に密封）は主催者スタッフが回収する。
- ※ ボールは表皮が痛むため消毒しない。競技者・審判は競技後、手洗いを確実にする。
- 準備物；消毒液（コートの数×3）、ペーパータオル・手袋・ビニール袋（試合数×3）

消毒チェックリスト③ (年 月 日)						
会 場			場 所	トイレ ()		
時 間 (時 : 分)	担当者 氏 名	消毒箇所 (○印)				
		ドアノブ	便 座	流しノブ	手すり	洗面台
:						
:						
:						
:						
:						
:						
:						
:						
:						

※ 大会終了後 2 週間保存

(一社) 徳島県バスケットボール協会

- 各試合が開始される毎に、トイレの手に触れる部分を中心に消毒する。
 - 換気に配慮する。
 - 手洗い場の消毒液を確認する。
 - 消毒に用いたペーパータオル・手袋はビニル袋に密封し回収する。
- 準備物；消毒液（トイレ数）、ペーパータオル・手袋・ビニル袋（トイレの数×6）